

レセプトデータを用いた医療機能の分析について

資料 2-2

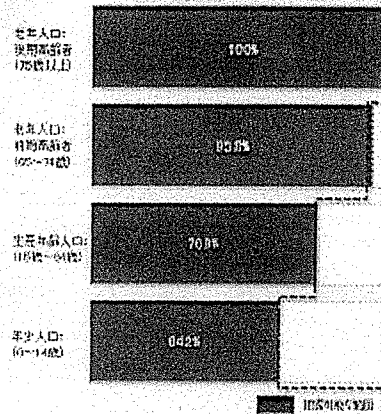
- ・ある医療機関を例に、エミタスのデータを用いて医療機能の区分を試算した。
- ・試算結果を病床機能報告と比較すると、急性期は多く、回復期は少なく報告されていた。

エミタスについて

・医療・介護・特定健診のデータを相互に連結分析できるシステム

・国保・協会けんぽ、後期高齢者を対象としている
(H26～国保, 後期高齢)

・人口ベースで約7割、医療費ベースで約9割の県民をカバー



分析の条件

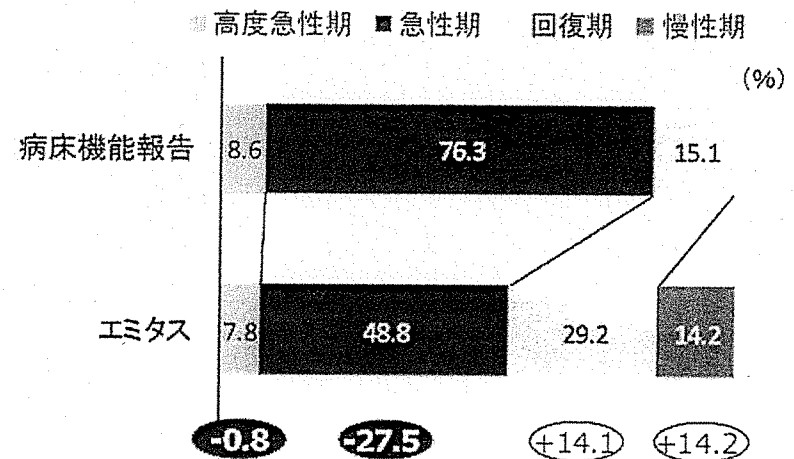
・対象:平成25年度の医療レセプト
(国保, 協会けんぽ, 後期高齢)

・地域医療構想策定ガイドラインの考え方により区分
(医療資源投入量:高度急性期 3,000点～, 急性期 600～3,000点, 回復期 175～600点, 慢性期～175点)

・医療資源投入量は、実施日ごとの診療行為の実施点数の合計から、入院基本料、食事療養、生活療養、標準負担額を引いて算出

結果

・ある医療機関の医療機能別の病床割合(試算)



※医療資源投入量の定義の問題や、エミタスでは65歳未満のカバー率が低いことによるバイアスがかかっていること等から、この結果により病床機能報告の内容の妥当性を評価することはできない。

医療・介護・保健情報等を活用した健康づくりの推進に向けた連携協力協定・分析事業

1 概要

県民の健康づくりを推進し、健康的な生活の実現を図るため、関係者が連携協力協定（H25.10.11締結）のもと、医療・介護・特定健康診査等の情報活用を通じて、特定健康診査・特定保健指導、がん検診等の地域状況に応じた受診促進や生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防等にきめ細やかに取り組む。

2 協定事業者

- 行政 広島県、県内23市町
- 保険者団体 全国健康保険協会広島支部、健康保険組合連合会広島連合会、広島県後期高齢者医療広域連合、広島県国民健康保険団体連合会、広島県医師国民健康保険組合、広島県歯科医師国民健康保険組合、広島県薬剤師国民健康保険組合、広島県建設国民健康保険組合
- 医療関係者 (一社)広島県医師会、(一社)広島県歯科医師会、(公社)広島県薬剤師会、(公社)広島県看護協会
- 介護関係者 広島県老人福祉施設連盟、広島県老人保健施設協議会、(公社)広島市老人福祉施設連盟

3 医療・介護・保健情報等の活用イメージ

